

多古町社協だより

平成29年(2017)

第110号

発行 平成29年 8 月 1 日



生涯現役です!

あじさい祭りにいろいろと

老人クラブ連合会女性委員による
わらじ作り (詳細は4ページ)

主な内容

- 2ページ 平成28年度の決算報告
- 3ページ 平成28年度の事業報告
- 4～5ページ カメラルポ(老人クラブ・地区社協)
- 6ページ 寄付・心配ごと相談など

編集・発行

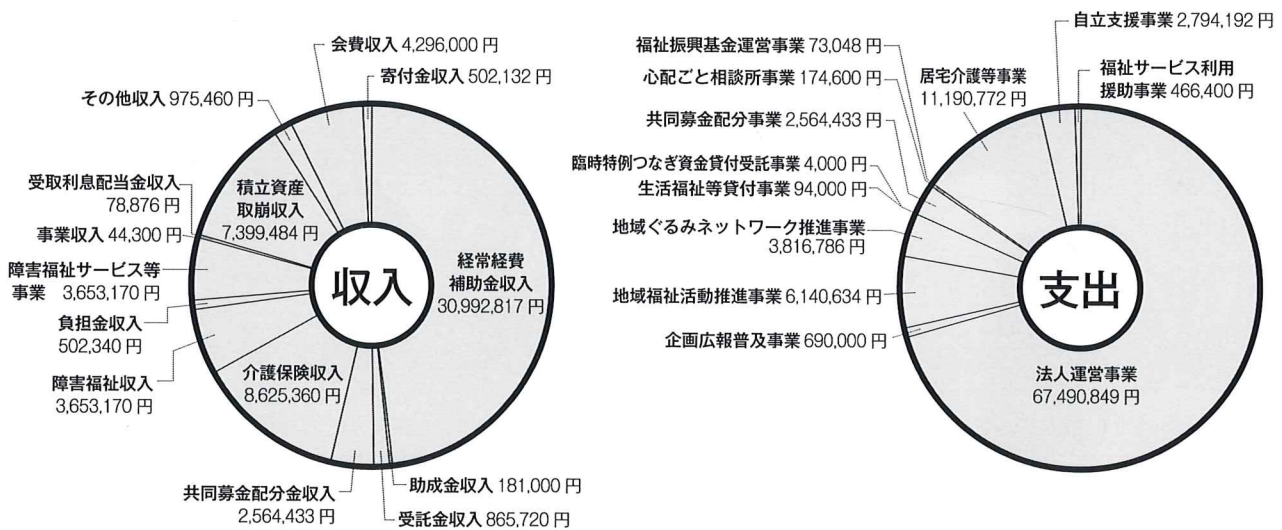
社会福祉法人
多古町社会福祉協議会

多古町多古777番地1
電話 76-5940
URL: <http://www.takoshakyo.jp/>

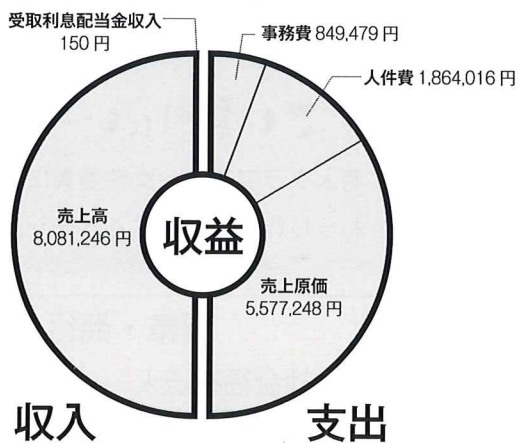
平成28年度決算

共に助け合い、生きがいとやすらぎのあるまちの実現に向けて
 5月16日理事会・6月1日評議員会が開催され、
 平成28年度事業報告・決算が認定されました。
 また、6月2日理事会で大木数万氏が会長に再選されました。

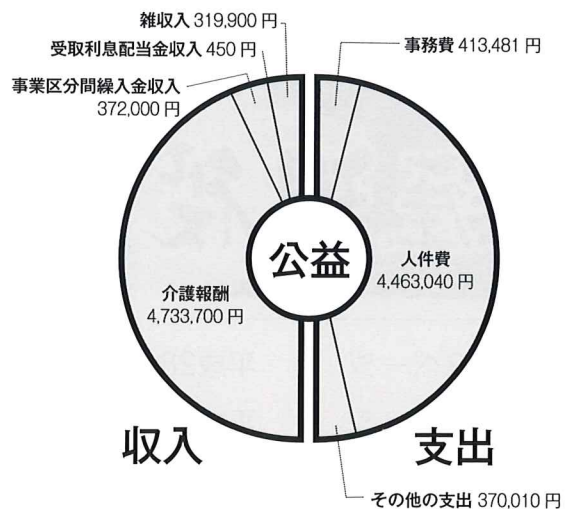
社会福祉事業 95,499,714 円



収益事業 8,290,743 円



公益事業 5,246,531 円



※法人内の資金の繰入繰出、預金の積替も含む。

平成28年度 事業報告

(概要)

※事業内容、決算の詳細はホームページでもご覧になれます。URL: www.takoshakyo.jp

「ゆたかな自然と文化と歴史に育まれる町」

多古町社会福祉協議会は、地域の皆さまとついに、安心して暮らせるまちづくりのために活動している団体です。さまざまなサービスの充実とともに、今後ともさらなる発展をめざしていきたいと考えています。

居宅介護支援事業

要介護高齢者の総合的な相談やケアプラン等を作成し、住み慣れた地域で安心して居宅において自立した日常生活が送れるよう、利用者の希望に沿った支援に努めました。

訪問介護事業

介護保険の認定者でサービスの利用希望者に、トイレ利用のための介助やオムツ交換、入浴介助をはじめ、買い物、掃除、洗濯など、安全を確保したうえで常に介助できる状態で見守りを行いました。

日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や障がい者の方で判断能力が十分でない方々を対象に、福祉サービスの利用に関わる相談・援助をはじめ、日常的な金銭管理のお手伝いなど自立生活の支援をしました。

外出支援サービス(高齢者・障害者)

車いす、ストレッチャー対応の車両で要介護認定を受けた方や、重度の身体障害者の方などに外出支援サービスを行いました。

共同募金配分金事業

赤い羽根共同募金運動に積極的に協力しました。集められた募金は千葉県共同募金会へ一旦集約され、民間福祉施設、団体等に配分され地域福祉の向上に役立てられました。

多古町社会福祉大会

大勢の町民・福祉関係者の皆さまに参加していただき、共に助け合い、生きがいとやすらぎのあるまちを築いていくことがアピールされました。

相談事業

広く住民の皆さまの日常生活上のあらゆる相談に応じ適切な助言、援助を行って地域福祉の増進につとめました。

食事サービス事業

保健推進員が健康に考慮した食事を、安否確認を兼ね、年10回提供しました。

ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

70歳以上のひとり暮らしの高齢者に乳酸飲料を月2回提供し、安否確認、見守りをしました。

貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者世帯の自立と更生をめざして、「生活福祉資金」・「たすけあい資金」の貸付と必要な援助指導を行いました。

日常生活用具貸付事業

一時的車いす等の介護用品が必要になった方に無料で(ギャッチベッドのみ有料)お貸ししました。

障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づく認定をうけて、サービスの利用を希望される方にヘルパーを派遣しました。

料理教室で健康づくり



多古町老人クラブでは、会員による料理教室が6月7日に保健センター調理室にて参加者25名で開催されました。

朝・昼・夕食を大切に1日3食のリズムが生活していくのにもとても大切で夏バテ対策や水分補給の重要性など、今後の食生活に管理栄養士の作った献立による料理教室はとても参考になるものでした。

骨粗鬆症の予防にカルシウムを多く含む『小松菜の海苔ごま和え』や、ビタミンやミネラルたっぷりの『炒め根菜汁』、目のビタミンと言われているビタミンAを多く含むかじきを使った『めかじきの南蛮漬け』、デザートには肥満を予防し植物性のタンパク質が豊富な大豆を使った『豆腐白玉』。

栄養満点の手づくり料理に、舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごした会員でした。



わらじ作り あじさい祭りにいろどりを 老人クラブ連合会 女性委員



6月5日老人クラブ連合会、女性委員15名で、わらじ作りを行いました。

会員それぞれが持ち寄った着物や浴衣を長くひも状に裁断、作業しやすい大きさにアイロンをかけビニールのひもに巻き付けていねいに編み上げていると色とりどりのわらじが完成。

わらじは町を通じて実行委員会に寄贈され、6月11日のあじさい祭り「多古米振舞行列」で使用されました。

祭りでは、武士や農民にふんする大勢の町民の足元を華やかに飾りました。



会員のやさしさつまった 花いっぱい運動



6月2日、今年も多古町老人クラブ連合会の花いっぱい運動が全町一斉に実施されました。

町を花でいっぱいに彩ろうと、毎年2回(夏、冬)行っています。

今回の夏の花は、コリウスです。

会員の優しさがたくさん詰まった花が町を彩り、大勢の方々の目に止まることで心が豊かな町づくりをめざします。

さわやかな汗を！ 軽スポーツ大会

多古町老人クラブ連合会の「平成29年度第1回軽スポーツ大会」が、6月29日、西古内グラウンドで開催されました。

グラウンドゴルフに123人と多くの方が参加くださいました。

今大会は天候により1日順延となりましたが、この日は梅雨時期にもかかわらず好天に恵まれ、朝から気温が上昇しました。選手の皆さんは、気持ちよく汗をかきながら、水分補給に心掛け、真剣に競技していました。

成績上位者36名はこの秋開かれる香取地区グラウンドゴルフ大会に町代表として参加します。

結果は次の通りです。

優勝 内田嘉子さん(台 作)
準優勝 菅澤弘一さん(高津原)
3位 鈴木邦子さん(南並木)



開会のあいさつをする越川京さん



菅澤毅グラウンドゴルフ部長



木村和克老連会長☆
ナイスショット!!



ボールの行方で勝敗が決まる!!



真剣なショット



(左) 準優勝 菅澤弘一さん(高津原)
(中央) 優勝 内田嘉子さん(台 作)
(右) 3位 鈴木邦子さん(南並木)



千葉県西部防災センターを視察 多古第三地区社会福祉協議会

6月21日、多古第三地区社会福祉協議会(宇井あい子会長)が、千葉県西部防災センター(松戸市)の視察研修を行いました。



地震・火災・風水害の恐ろしさと防災の重要性の説明を受ける一行



心肺蘇生法の体験

西部防災センターでは、自動体外式除細動器(AED)や、訓練用人体模型を使って心肺蘇生法を体験し、避難と安全として、火災時の主に煙による災害の実態や煙の性質につ

ての知識を深め、体験装置により煙の中を安全に避難する方法や、地震の科学として東北地方太平洋沖地震や兵庫県南部地震などと同様の状態を、地震装置により震度6強の体験や、風水害のメカニズムや自然災害から身を守るための知識についての説明を受け、風速30m/秒、雨量30mm/時の威力を実際に体験しました。



119番通報シミュレーションにより通報体験



訓練用人体模型を使って心肺蘇生法の体験



風速30m/秒・雨量30mm/時の風水害の体験

また、通報と防災として火災と救急についての119番通報シミュレーションにより通報の仕方、通報の仕組みなど、火災と消火の科学として火災と消火の科学として火災についての知識を身につけ、初期消火の方法を訓練用の消火器を用いて消火体験をしました。



訓練用の消火器について消火体験の説明を受ける一行



119番通報体験



訓練用の消火器を用いて消火体験

次に、日本庭園が見渡せる中庭からの景観を楽しむ昼食会場で、ゆっくりと親睦を深めた一行は充実した一日となりました。



◆◆千葉県西部防災センター来館記念◆◆

2017年 6月21日

防災センター視察研修を終えて記念撮影

- ・多古町三業組合 7, 230円
- ・多古町商工会女性部 14, 450円
- ・国保多古中央病院 62, 100円
- ・多古町社会福祉協議会役員
非常勤者有志 8, 000円
- ・多古町シルバー人材センター 11, 150円
- ・あじさい演芸会 30, 000円
- ・匿名 80, 546円
- ・カラオケ連合会一同 6, 600円
- ・多古町文化協会 100, 000円

チャリティコンペ
100, 000円

・東京国際空港ゴルフ倶楽部
第19回クラブエコル

4月1日～6月30日 (敬称略)

ありがとうございます。

『福祉活動に役立ててください』
と、次の方々から寄付金をいただきました。

× …… ×
善意のご寄付
ありがとうございます
× …… ×

多古町心配ごと相談所

- 担当相談員が無料で相談を行っています。
- 電話(70-6071)での相談も行っていきます。

お気軽にどうぞ

とき 毎週水曜日
午後1:30から3:30

ところ 多古町社会福祉協議会



「平成29年7月5日からの

大雨災害義援金」

「大分県豪雨災害義援金」

にご協力を!

平成29年8月31日まで受付しております

被災された方々への支援として
義援金を募集しております。
ご協力をお願いいたします。
詳しくは、社会福祉協議会まで
お問い合わせ下さい。



大木数万氏が会長に再選



去る6月2日に開催
されました理事会にお
きまして、再び会長に選
任されました。

心機一転職責を果た
すべく誠心誠意努めて
まいりたいと思います。

前会長が任期途中で
退任されましたので、約
1年間皆様の温かいご

支援により任務を終わることが出来ました。心よりお礼
と感謝を申し上げます。

昨年は、社会福祉法の改正に伴う種々の制度改正があ
りました。

当協議会の定款も大幅に改められ、新制度により理事
・監事、評議員が選任され、新しいメンバーでの会議
も開催され、新たに設置された評議員選任解任委員会も
既に機能しております。

懸案でありましたボランティアセンターを4月より
開所いたしました。

ボランティアを行いたい人とボランティアを必要と
している人を繋ぐ拠点として、ボランティアの登録、紹
介、育成をサポートするものであります。

町民の皆様への更なるPRに努め、内容の充実を図っ
ていきたいと思ひます。

又、町と災害ボランティアセンターの設置運営等に関
する協定を結びました。

本町で災害が発生した際に、ボランティア活動が円滑
に実施できるための役割を社会福祉協議会が担当する
ものであります。

これが有事の際、迅速かつ的確に運営できるのか大変
不安であります。

この為、訓練を数多く重ねていく事が必要でありま
す。

行政と一体となった総合防災訓練の実施など町に提
案していきたいと思ひます。

時代の変化により、新たな課題が発生してくる事が予
想されます。

心を新たにして、職員一同頑張っていきたいと思ひま
すので一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。